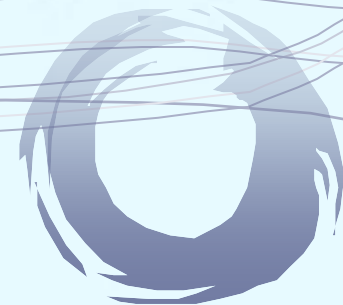
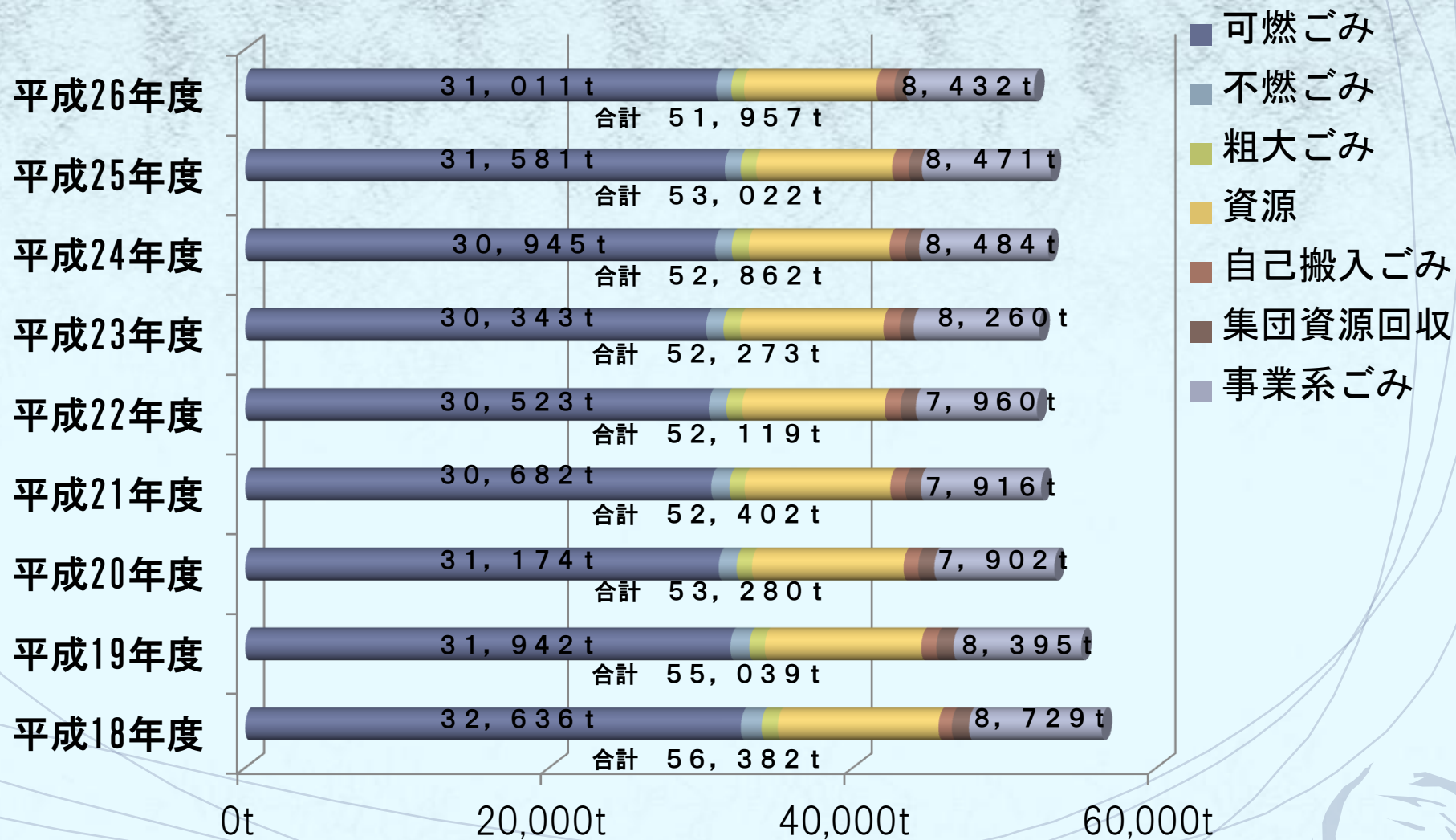


ごみの現状について

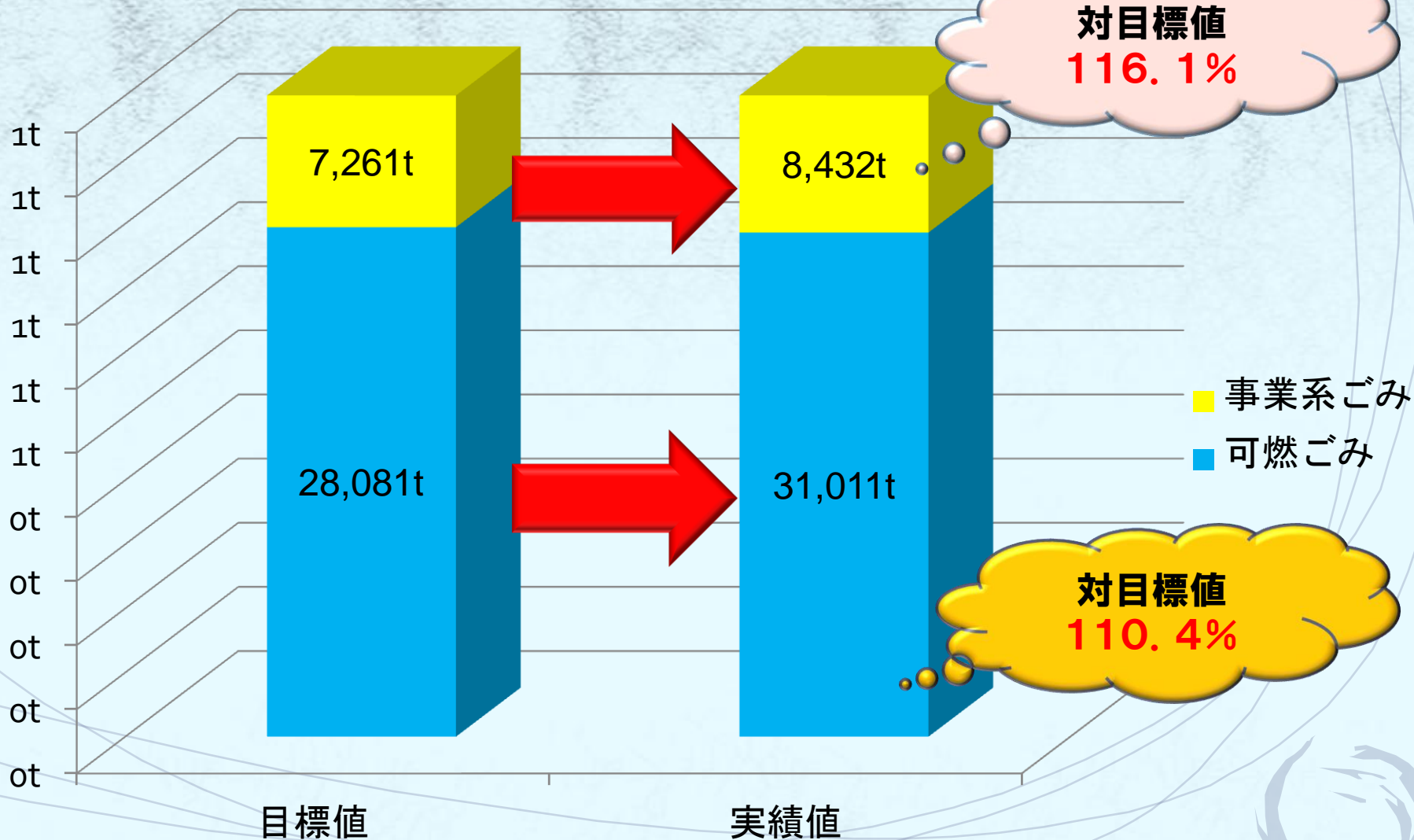
- I ごみの排出量
- II 新たな資源化事業
- III 今後の課題



Ⅰ ごみの排出量(実績値)



平成26年度の可燃ごみと事業系ごみの量 (目標値と実績値の比較)

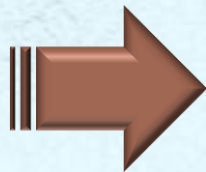


市民一人1日当たりの排出量の推移

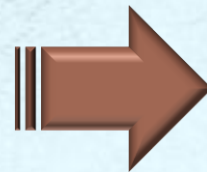


・可燃ごみ

◎平成24年度
目標値 466g
実績値 499g
(33g増)



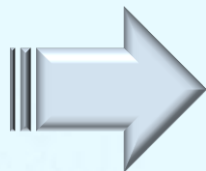
◎平成25年度
目標値 459g
実績値 510g
(51g増)



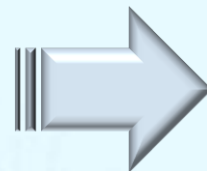
◎平成26年度
目標値 452g
実績値 503g
(51g増)

・総ごみ排出量(資源物除く)

◎平成24年度
目標値 641g
実績値 688g
(47g増)



◎平成25年度
目標値 631g
実績値 698g
(67g増)



◎平成26年度
目標値 621g
実績値 689g
(68g増)

II 新たな資源化事業

① ペットボトルのベール化

■平成25年2月から開始



② 木質系粗大ごみの資源化

■平成25年6月から開始



③ 小型家電のリサイクル事業の実施

■平成26年2月から開始



④ 布団・毛布の資源化

■平成27年4月から開始



Ⅲ 今後の課題

① 生ごみ減量施策

② 事業系ごみの減量、資源化策

③ 家庭ごみ有料化の検討

④ 一般廃棄物最終処分場の更新